

※レンチキュラー印刷データは通常のクリアファイル印刷データとは異なりますのでご注意ください。

Adobe Illustrator 用 データ作成時のチェックポイント

例: A4 クリアファイル

1 保存形式

文字アウトライン

仕上がり線
(ガイド線)

画像配置
画像解像度

溶着部分

表面

5 パターン

6 オーバー
プリント
(K100%)

8 ぬりたし

保存形式 1 AI形式で保存して入稿してください。

文字アウトライン 2 文字には必ずアウトラインをかけてください。

仕上がり線(ガイド線) 3 ピンクのラインで型抜きします。切れてはいけない文字やデザインはラインより3mm内側にデザインしてください。

画像配置・解像度 4 リンク元画像も一緒にご入稿ください。解像度は300~350dpiを推奨しております。CMYKにしてプロファイルは埋め込まないでください。

パターン 5 パターン機能を使用した場合は、必ず「分割・拡張」の処理を行って下さい。

オーバープリント 6 K100%のみオーバープリントが適用され、下の色が透けて見えてきます。適用したくない場合はK100%+C1%など他の色を1%足してください。

溶着部分 7 溶着部分への印刷は可能ですが見せたいデザインや読ませたい文字は仕上がり線より7mm以上内側に配置してください。

ぬりたし 8 仕上がり部分より左右15mm外側(横向きデザインの場合は上下15mm)までぬりたしをつけてください。

作成レイヤー 9 レイヤーの「仕上がり」「トンボ」は変更禁止です。3Dレイヤー、3Dリアルの場合は、遠近別に前後するよう、パーツごとにレイヤーを分けて作成してください。チェンジング、ムービングの場合は、カット別にレイヤーを分けて作成してください。

